倫　　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　高校生ＡとＢが交わした次の会話を読み，後の問い（**問１～８**）に答えよ。なお，会話と問いのＡとＢは各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ａ：浮かない顔をしているね。

Ｂ：うーん。実は，友達とあることについて話していたら，言い争いになったんだよね。向こうは「自分の考えの方が正しい，ⓐ真理なんだ」って言い張っていて，嫌になっちゃったよ。

Ａ：それでどうしたの？

Ｂ：ただ黙ってやり過ごしたよ。議論にもⓑ礼儀やマナーが必要だし，あれだけ強く言われると，相手にするのが面倒くさくなっちゃった。

Ａ：それはダメでしょ。とにかく，ⓒ異なった見方や考えを持った相手に対しては，議論に勝って，自分の正しさを示さないと。

Ｂ：そうかな？　黙って受け流した方がいいと思うけど…。その方が相手を傷つけることもなくてⓓ人間の生き方としてふさわしいと思うし，こっちも不快な思いをしなくて済むしね。

問 1　下線部ⓐに関して，様々な宗教や思想家による真理についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 1

① ソクラテスは，ソクラテス自身が持っている真理を，対話相手に教え込むために，産婆術(助産術)に喩(たと)えられる対話活動を重ねた。

② イスラームにおいて，ムハンマドは，神の真理の言葉を託された者であり，彼によって示された言行・慣行も，信者の生活規範となっている。

③ 中世ヨーロッパのスコラ哲学では，神学は哲学に仕えるべきものとされ，哲学の真理は信仰に基づく神学の真理に優越すると考えられた。

④ ブッダは，生来の身分ごとに異なる義務をそれぞれ全うすることで，真理を体得できると説いた。

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア**～**ウ**は，古代中国における礼をめぐる説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

ア　孔子は，自分勝手な欲望や感情を抑制し，自らの行為や態度を礼という規範に従わせる克己復礼を唱え，それが仁であると考えた。

イ　孟子は，井戸に落ちかけている幼児を見掛けたとき，損得勘定なしにとっさに幼児を救おうとする惻隠の心を成長させていけば礼になると考えた。

ウ　墨子は，死後の親に対する礼として華美な葬祭を実行することが，社会全体の富を増やし人民を幸福にすることにつながると主張した。

① **ア**　正　　**イ**　正　　**ウ**　誤
② **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　正
③ **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　誤
④ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　正
⑤ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　誤
⑥ **ア**　誤　　**イ**　誤　　**ウ**　正

問 3　下線部ⓒに関連して，イスラームにおける異文化や他民族との関わりについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

① イスラーム文化は，古代ギリシア思想から距離を置き，その中でも特にアリストテレス哲学を否定することで，独自の思想文化を形成した。

② イスラーム共同体（ウンマ）では，信徒は神の前で互いに平等とされるが，この共同体の範囲は民族や国家の枠組みを超えるものではない。

③ イスラームでは，神の平和の実現のために努力することをジハードと言うが，これには外敵に対する自衛のための武力行使は含まれない。

④ イスラームでは，モーセも預言者として認められており，ユダヤ人であるモーセもまた，神の言葉を預かったと考えられている。

問 4　下線部ⓓに関して，人間の生き方をめぐる様々な宗教や思想家の考え方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 4

① アリストテレスによれば，人間は，知性的な徳の中でも実践的な徳である思慮（フロネーシス）を働かせて，行為や情念に過剰や不足がある状態を避けるべきである。

② 回心後，各地で布教活動をしたパウロは，信徒が信仰・正義・愛の三つに基づいて倫理的に生活することを勧めたが，これらは後にキリスト教の三元徳と呼ばれた。

③ イエスが語ったとされる「実に，神の国はあなたがたの中にある」という言葉は，黄金律と呼ばれ，後にJ. S. ミルによって功利主義道徳の精神を表現するものとして重視された。

④ 苦しみに耐え忍ぶ実践としての忍辱を重視した大乗仏教では，他者の忍辱の修行を妨げないようにするため，苦しむ人を助けるという慈悲の実践を控えることが推奨された。

問 5　42 ページの会話の翌日，Bは次の**資料**を見付け，Aに見せた。後の会話を読み，会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 5 ］

資料

もし誰かが私の理解と行いが正しくないと批判し，そのことを示してくれるならば，ありがたく過ちを正そう。なぜなら，私は真理を求めているのであり，誰も真理によって害されたことはないのだから。対して，自己への欺きと無知にとどまる者こそ，害を被っているのである。

（マルクス・アウレリウス『自省録』より）

B：この**資料**によると，私は自分が面倒なことを背負い込んだり，不快な思いをしたりするのが怖くて，議論を避けたわけだから，［ **a** ］ってことになるね。

A：なるほど。確か，ローマ皇帝のマルクス・アウレリウスって，ストア派の哲学者でもあったんだよね。ストア派って，［ **b** ］って考えたって授業で習ったよね。

B：そうした思想が，この**資料**の背景にあるのかもしれないね。

① **a**　真理を見ようとせず，無知による害を受けかねない
　b　喜怒哀楽の情念に惑わされない人間が賢者である

② **a**　真理を見ようとせず，無知による害を受けかねない
　b　人間は情念をありのままに受け入れて，惑わされないようにすべき

③ **a**　無益な議論を避けることで，自分にとっての真理に対して誠実だった
　b　理性を持つ人間は，自然の理法に平等にあずかることができる

④ **a**　無益な議論を避けることで，自分にとっての真理に対して誠実だった
　b　人間は理性によって情念を従わせ，幸福になることができる

倫　理

問 6　AとBは，次の**資料 1 ・資料 2** を見付け，先生と 3 人で後の会話を交わした。会話中の下線部①～④は，それぞれ**資料 1 ・資料 2** から読み取れる内容の説明，ならびに老子・旧約聖書についての説明である。その内容として**適当でないもの**を①～④のうちから一つ選べ。 6

資料 1　『老子』からの引用

有と無，難と易，長と短……(という対立する言葉や概念)は，互いに依存し合い相対的な関係にある。ゆえに，聖人は無為を決め込み，言葉に依(よ)らない教えを実行するのだ。

資料 2　旧約聖書「ヨブ記」からの引用

主はヨブに言われた。非難する者が全能者と言い争うのか。……ヨブは主に答えた。私は取るに足りない者。何を言い返せましょうか。……それゆえ，私は自分を退け塵(ちり)と灰の上で悔い改めます。

A ：**資料 1** も**資料 2** も，黙することの大切さを説いているようだね。

B ：**資料 1** では，①様々な言葉や概念は相対的なものにすぎないから，聖人は言葉に依らない教えを行うと言われているよ。

A ：授業で，②老子は，人々が道から外れて，文明や道徳を人為的に作ったことを批判したって習ったね。**資料 1** はそれと関連しているのかな。

B ：**資料 2** はどうだろう。旧約聖書の「ヨブ記」は，様々な不幸に見舞われたヨブが，全能者である神にその理由を問いかける物語らしいね。

A ：③「旧約」って，古くからの伝統に基づく神との契約という意味で，ユダヤ教徒自身が誇りを持ってそう呼ぶようになったんだよね。

B ：**資料 2** では，④ヨブが自らの卑小さを忘れて，その神と言い争おうとした自分を反省している様子が描かれているね。

A ：うーん，むやみに議論を追い求めるのが正しいわけでもないのか…。

先生：一か所誤りもありますが，**資料 1 ・資料 2** を基によく考えていますね。

問 7　Aは，『スッタニパータ』の一節である次の**資料**をBに示し，後の発言をした。Aの発言中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 7 ］

資料

ある者たちは……他の教えに善は無いと説く。自分が依拠する教えが善であることを説きながら，それぞれ別々の真理に固執している。……論争が修行者たちの間に起きると，勝利の驕(おご)りと敗北の落胆がある。人はこれを見て論争をやめるべきである。称賛の獲得以外に何にもならないからである。……称賛されると，……喜び，心高ぶる。心の高ぶりによって，彼が害されることになる。

A：**資料**を見てよ！　ブッダは，［ **a** ］って言ってるよ。倫理の授業でブッダは［ **b** ］って習ったよね。**資料**はそれと関係してるのかな。

① **a**　論争は称賛を得ること以外には何の役にも立たず，称賛は心の高ぶりを生み出すことで人を害するため，人は論争すべきではない
　b　自己への執着が苦しみの原因であると主張した

② **a**　論争の勝者には驕りが生じ，論争の敗者は失意に陥ることになるため，論争は勝者のためにも，敗者のためにもならない
　b　身体を苦しめる修行によって真の自己を見いだせると主張した

③ **a**　論争は自らが真理であると思う事柄を批判的に吟味するためには有益であるが，勝敗に一喜一憂することは避けなければならない
　b　自己への執着が苦しみの原因であると主張した

④ **a**　論争においては，自らが真理であると思う事柄を守るために，相手からの厳しい批判を受けるが，その苦しみに耐え続けなければならない
　b　身体を苦しめる修行によって真の自己を見いだせると主張した

倫　理

問 8　次のAとBの会話を読み，会話中の［ a ］の前後の文脈を踏まえて，［ a ］に入る文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。なお，①～④の記述内容自体は正しいものとなっている。［ 8 ］

B：ここ数日のやり取りで，少し成長した気がするよ。私は最初，面倒なことを背負い込んだり不快な思いをしたりするのが嫌で，自分を守るために議論を避けたんだけど…。『自省録』の言葉は響いたなあ。

A：私は最初，議論はとにかく相手を言い負かして，勝つためにやるものだと思ってた。でも，そうした仕方で議論することの危険性もあるんだね。だから，あえて議論で争わないっていう思想を唱えた人もいたんだね。

B：議論すること自体がダメではなく，議論の姿勢や目的が大事なのかな。

A：うん。議論をしてはじめて真理へと至る道が開けてくるとも考えられるよね。倫理の配付資料にも似た話が書いてあったね。「［ a ］」って。

B：そうだね。議論してくれる相手と向き合って，互いの言い分を理解し合おうとすることが，自分の考えを深めて磨く機会にもなり得るんだね。

A：自分が対立に直面したときは，その都度しっかりと考えないとね！

① 新約聖書の「マルコによる福音書」によると，イエスは，十字架にかけられる前に行われた裁判で，自分を告発する証言者に対して弁明するように求められたとき，黙り続けて，答えることはなかった

② 『伝習録』によると，王陽明は，良知の理解をめぐって対立した弟子たちに対して，議論によって互いの主張に耳を傾け，相互の見解を補い合うことで，正しい理解へと至ることができると諭（さと）した

③ ナーガールジュナ（竜樹）は，『ヴァイダルヤ論』で，論争の前提となっている言葉自体が存在するものではないから，論争に基づいて解脱に到達することはあり得ないという考え方を示した

④ ゴルギアスは，『あらぬについて』で，あらゆる物事について，実際にありはしないし，あっても理解できないし，理解できたとしても言葉で伝えられないと論じ，議論によって得られる真理に疑いのまなざしを向けた

倫　理

第 2 問　以下の**Ⅰ**～**Ⅲ**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。なお，会話と問いのC，D，先生は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　次の会話は，日本思想に関する倫理の授業後に，高校生CとDが交わしたものである。

C：ⓐ理想という言葉について調べることになったんだけど，困ったなあ。そもそも理想って何だろう？

D：改めて聞かれると難しいよね。ある本で理想の意味を調べてみたら，「現実があるがままの姿を指すのに対して，人および物事のⓑあるべき姿を指し示す言葉」だと書いてあったよ。

C：ということは，ⓒ仏教者や儒者など，日本の先人たちがあるべき姿をどのように考えてきたかを調べてみたらいいのかな？

D：そうだね，一緒に調べてみよう！

問 1　下線部ⓐに関連して，古代の日本人が重んじたあり方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **9**

① 自然との調和を重んじた古代の人々は，自然の恵みを受けて共同体が繁栄することを理想とし，自然の中に神が存在することを認めなかった。

② 自然との調和を重んじた古代の人々は，自然の威力に逆らわないことを理想とし，災厄が生じたときには身を慎んで，一切の祭祀(さいし)を行わなかった。

③ 純粋な心を重んじた古代の人々は，人間が生まれながらに持っている罪を禊によって祓い清め，神と一体になることを目指した。

④ 純粋な心を重んじた古代の人々は，偽りのない心で神に向き合うことを大切にし，祭祀を妨げて共同体の安穏を脅かす行為を罪であると考えた。

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア**～**ウ**は，役人のあるべき姿を示した「憲法十七条(十七条憲法)」の条文に書かれた言葉についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

ア　「和をもって貴しとなし」という言葉は，人々が出家して仏教の真理を体得することで，共同体の調和が実現されるという意味である。

イ　「篤く三宝を敬え」という言葉は，仏，法，僧の三つを尊重することが大切であるという意味である。

ウ　「ともにこれ凡夫のみ」という言葉は，誰もが欲望にとらわれた存在であるという意味であり，他人に意見を求めることの無意味さを説いている。

① **ア**　正　　**イ**　正　　**ウ**　誤
② **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　正
③ **ア**　正　　**イ**　誤　　**ウ**　誤
④ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　正
⑤ **ア**　誤　　**イ**　正　　**ウ**　誤
⑥ **ア**　誤　　**イ**　誤　　**ウ**　正

問 3　下線部Ⓒに関して，次の図 1 ～ 3 は，仏教者の修行の方法について考えるために，授業で先生が示したものである。C，D，先生の三人が，図 1 ～ 3 について交わした次ページの会話中の［ a ］・［ b ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 11 ］



図 1　明恵が修行をしている絵



図 2　ブッダが修行をしている彫刻



図 3　現代の禅僧が修行をしている写真

先生：**図 1** は，［ **a** ］の明恵の姿を描いたものです。**図 2** や**図 3** と比べて気が付いたことはありますか？

Ｄ　：**図 1** ～ **3** は，みな同じ姿勢をとっているように見えます。

先生：はい。いずれも同じ修行の方法をとっています。

Ｃ　：ということは，**図 1** ～ **3** を並べて考えてみると，それぞれの時代や地域が違っても，［ **b** ］と言って良いですね。

先生：そうですね。日本仏教を理解するに当たっては，より広く仏教としての共通性にも目を向けなければいけないと言えるでしょう。

① **a**　華厳宗
b　心身のあり方を重視する修行がなされ，悟りを目指す実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

② **a**　華厳宗
b　修行においてはひたすらに念仏を唱えることが重視され，浄土に往生しようとする実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

③ **a**　臨済宗
b　心身のあり方を重視する修行がなされ，悟りを目指す実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

④ **a**　臨済宗
b　修行においてはひたすらに念仏を唱えることが重視され，浄土に往生しようとする実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

⑤ **a**　浄土宗
b　心身のあり方を重視する修行がなされ，悟りを目指す実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

⑥ **a**　浄土宗
b　修行においてはひたすらに念仏を唱えることが重視され，浄土に往生しようとする実践の原点に，ブッダ以来の修行が据えられた

Ⅱ　次の会話は，「理想」について調べていたＣとＤが，日本の近世の思想について先生と交わしたものである。

Ｃ　：近世ではどんな理想が思い描かれていたんだろう？

Ｄ　：例えば，伊藤仁斎は，日常において道が実現されることを重視して，日々の生活における人と人との和合が大切だと説いていたね。

Ｃ　：本居宣長の説いたⓓ真心も，一つの理想と捉えて良いのかな？

先生：いずれも人間のあるべき姿を追求したものと捉えて良いでしょう。あるべき姿について考えることは，ⓔ日々の生活や，自分の心のあり方を見つめ直すことにつながりますね。

問 4　下線部ⓓに関して，ＣとＤは，本居宣長が説いた真心の働きを，自分たちの身近な事例を通じて説明できないかを話し合った。本居宣長の真心についての考え方に即してなされた発言として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

①　図書室で借りた本を返さない人がいるんだよ。借りた物を期限までに返すのは，人として当たり前のことなのに。誰もが物事の善悪を考えて，道理に従って正しく行動すれば，世の中のことは万事うまくいくと思うんだ。

②　知り合いに，いつも腹を立てている人がいるんだ。何かにつけて怒りをあらわにするなんて，大人げないよね。心の状態にかかわらず，自分の立場や役割をよく考えて，全ての人に親切に接することが大切だと思うんだ。

③　あえて感情を抑えて，理知的に振る舞うことを心掛けている人もいるみたい。でも，悲しいときには泣けばいいし，嬉(うれ)しいときには喜べばいいんだよ。そうすることが，人の本来の生き方であると思うんだ。

④　学級委員の二人，文化祭のことで感情的になっちゃって，かなり険悪な雰囲気だったよね。感情に任せて他人と争うなんて，愚かなことだよ。一時の感情に身を任せずに，丁寧に説明すれば分かり合えるはずなのに。

問 5　下線部ⓔに関連して，安藤昌益についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 13

① 町人が経済的な力を持つようになったことを背景として，町人としての生き方を積極的に肯定し，「ただの町人こそ楽しけれ」と唱えた。

② 天道を受け止めながらも，ひたむきに努力する人道の大切さを説き，分をわきまえて倹約に努める報徳の実践を重視した。

③ あらゆる差別と搾取を排除した平等な社会を理想とし，武士が農民を支配するような封建的な社会のあり方を，法世として批判した。

④ 人間が本来持っている心情と，社会において守るべき道徳との葛藤に着目し，その相克に苦しみながら生きる人間の姿を浄瑠璃に描いた。

Ⅲ　次の会話は，**Ⅱ**の会話の翌日に，「理想」をめぐる日本の近代の思想について，C，D，先生が交わしたものである。

D　：大正時代には，現実をありのままに肯定する自然主義に対して，文学や思想の分野で理想主義が唱えられました。今ある現実を超えてあるべき姿を追い求め，ⓕ理想と現実の間で葛藤した人々の姿が印象的でした。

先生：大事な点に気が付きましたね。実は「理想」という日本語は，近代になってからドイツ語のIdeal（イデアール）を訳して作られたものなのです。

C　：Idealの語源はイデアでしょうか？　永遠に変わることのないイデアを踏まえて，理想という言葉が作られたのですね。

先生：そのとおりです。西洋の思想を取り入れる中で，ⓖ現実の自己をより深く見つめ，あるべき姿を探求した人もいました。

問 6　下線部ⓕに関連して，次の**ア・イ**は，理想と現実の間で葛藤した思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

ア　キリスト教的人道主義の立場から，近代化の進展に伴い発生した社会問題に心を痛め，競争や階級のない平等な社会の実現を目指した。

イ　現実的な政治の世界に理想の実現を求めた後に，文学の世界に身を投じ，文学を通して，自己の内部生命の要求を実現することを求めた。

① **ア**　石川啄木　　**イ**　安部磯雄
② **ア**　石川啄木　　**イ**　北村透谷
③ **ア**　安部磯雄　　**イ**　石川啄木
④ **ア**　安部磯雄　　**イ**　北村透谷
⑤ **ア**　北村透谷　　**イ**　石川啄木
⑥ **ア**　北村透谷　　**イ**　安部磯雄

問 7　下線部ⓖに関連して，自己を深く見つめた哲学者の西田幾多郎と，その西田が深く共鳴した親鸞の思想に関心を持ったCは，次の**ノート**を作成した。ただし，**ノート**には，適当でない箇所が一つある。西田幾多郎や親鸞について説明した記述として**適当でないもの**を，**ノート**中の下線部①～④のうちから一つ選べ。 15

ノート

西田幾多郎は，あるべき自己のあり方を，世界や存在の真のありようという観点から考えました。『善の研究』の中で，①西田は，例えば美しい音楽に心を奪われて我を忘れるような主客未分の体験に注目し，これを純粋経験と呼びました。また，②西田は，純粋な知の働きによって「真の実在」を認識し，自らのあり方を反省することで，「真の自己」が実現されると考えました。彼の思索には，自己の理想的なあり方を真摯に見つめた姿勢が感じられます。

さて，西田というと，坐禅に打ち込みつつ自分自身の哲学を築き上げたことで知られていますが，西田は，親鸞にも深く共鳴していました。③親鸞は，自己の内面に捨て去ることのできない煩悩があることを見つめて，自分は煩悩を捨て切れない悪人だと自覚することを重視しました。また，④自然法爾という考え方を示した親鸞は，悟りを求めようとする自力を捨てて，阿弥陀仏のはたらきに身を委ねるあり方を説きました。ここには，現実の自己のあり方を厳しく見つめ，理想を探し求めた姿勢が感じられます。

二人の生きた時代は異なりますが，このような両者の思想は，理想を探し求めることで現実の自己を問い直し，そこから新たな現実を開くことができるのだと，私たちに教えてくれます。

倫　理

問 8　次の**資料**は，近代における「理想」の捉え方に関して先生が示したものである。**資料**を踏まえて交わされたCとDの会話を読み，会話中の［ **a** ］に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 16 ］

資料

理想の理想たる所以（ゆえん）は，それが常に現実の上にかかる力として，現実を高め浄（きよ）むる力として，現実を指導して行くところにある。ゆえに理想が理想たるかぎりはそれは現実と矛盾する。理想は現実を歩一歩（ほいつぽ）*に浄化してこれをおのれに近接せしめながら，しかも常に現実と一歩の間隔を保って行く。……理想は何物かを否定する，何物をも否定せざる理想は理想ではない。もとよりここにいう否定とは存在を絶滅することにあらずして，存在の意義を，存在の原理を更新することである。

（阿部次郎『三太郎の日記』より）

*歩一歩：一歩ずつ

C：理想って，実現できない彼方（かなた）のものだと思ってたけど，**資料**に「現実の上にかかる力」とあるように，現実に働きかけてくるものなんだね。

D：でもさ，理想が現実を浄化するって，どういうことだろう？

C：それは，理想が［ **a** ］ということだと思うよ。

D：なるほど…。「理想」という言葉の捉え方が豊かになった気がするよ。理想について考えることで，私も現実の自分を見つめ直すことができそう。

① 今ある現実を無条件に肯定することで，日常の苦しみを解消してくれる
② いつでも現実と齟齬（そご）なく合致して，今ある現実の意義を保証してくれる
③ 現実のありようを一方的に否定して，現実そのものを消し去ろうとする
④ 現実と理想の隔たりを浮かび上がらせ，現実を向上させる原動力となる

第３問　以下のⅠ～Ⅲを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いのF，G，先生は各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の会話は，「考えること」をテーマにした倫理の授業中に，ルネサンス期の「魔女狩り」の光景を描いた絵画をめぐって先生と高校生Fが交わしたものである。



先生：魔女狩りでは，国家とキリスト教会に一般の人々も数多く加わって，罪のない人々を魔女とみなし，この絵のように火刑に処するなどしました。

F　：人間「再生」の時代と言われるⓐルネサンス期にも，こんな側面があったのですね…。人々は，自分が間違っていると考えなかったのかな。

先生：そう，多くの人々が自分たちの判断に正当な根拠があるかを考えず，ある種の思考停止状態に陥って少数の人々を迫害したのが魔女狩りであったとすれば，同様なことは今日でも十分に起こり得るでしょう。

F　：例えば，［ **a** ］ような場合ですね。考えることを止（や）めてしまったら，自分も現代版の魔女狩りに加担しかねない…。他人事（ひとごと）ではないなあ。

倫　理

問 1　下線部ⓐに関連して，ルネサンス期に活動したピコ・デラ・ミランドラの思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① 人間は，他の動物と同じように自由意志を持っているので，自己のあり方を自分で決めることができる。

② 人間は，他の動物と同じように自由意志を持っていないので，自己のあり方を自分で決めることができない。

③ 人間は，他の動物と違い自由意志を持っているので，自己のあり方を自分で決めることができる。

④ 人間は，他の動物と違い自由意志を持っているとはいえ，自己のあり方を自分で決めることはできない。

問 2　59 ページの会話中の **a** に入る事例として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 18

① 多くの人々が，眼前の困難に向き合う責任をただ回避するために，その困難の原因は特定の集団にあると根拠なく決め付けて，彼らを攻撃する

② 多くの人々が，思想や信条の異なる人々を自分たちとは異なるというだけで迫害し，そうすることで自分たちの正しさを信じ込もうとする

③ 権力者が自分に対する社会の不満をかわす意図で敵に仕立てた人物を，多くの人々が，権力者の言うままに不満の原因と思い込み，糾弾する

④ 世の中に広がっている漠然とした不安を自分なら解消できると主張する人物を，多くの人々が，その主張の根拠を確かめないまま熱狂的に支持する

Ⅱ　次の会話は，授業の後にＦとクラスメートのＧが交わしたものである。

Ｆ：思考停止って怖いね。でも，知識さえあれば，ⓑ他人の意見などを鵜呑(うの)みにせず，疑ってみることもできるから，思考停止も避けられるよ。

Ｇ：それはどうだろう。例えばこんな言葉があるよ。「あらゆることについて読書した人たちは，同時にあらゆることを理解していると考えられていますが，必ずしもそうではありません。読書は心に知識の素材を提供するだけであり，思考こそが，私たちが読んだものを自分のものにします」。

Ｆ：そうか…。知識だけがあればいいってことじゃないのか。これ，誰の言葉？

Ｇ：ほら，『人間知性論』を書き，人間の心を「白紙」になぞらえた思想家だよ。

Ｆ：ああ，それは［ **a** ］んだった。「白紙」は人間が知識を獲得する仕方を一般的に説明するための比喩だったね。その上で，この言葉は，自分の頭で考えることを通してこそ，知識は借り物ではなく，本当に自分のものになると述べているんだね。

問 3　下線部ⓑに関連して，デカルトが行った方法的懐疑についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 19 ］

① デカルトは，僅(わず)かでも疑わしいものは真ではないとみなす方法的懐疑を経て，精神としての自己の存在を哲学の第一原理として見いだした。

② デカルトは，過誤に陥ることを避けるために，結論を導くことを回避し続ける方法的懐疑を自身の哲学の中で実行し続けた。

③ デカルトは，疑わしいものに関する真偽の判断を差し控える方法的懐疑の過程で，数学上の真理だけは疑い得ないことに気付いた。

④ デカルトは，自分の感覚を疑うことは不可能であるという経験から出発して，あらゆる知識を方法的懐疑にかけ，その真偽を見極めるに至った。

問 4　61 ページの会話中の［ a ］に入る記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 20 ］

① ヒュームだね。彼は，自我とは知覚の束にすぎず，諸々の観念も人間の心が慣習として作り出したものにすぎないと主張した

② ロックだね。彼は，生まれながらにして人間に具(そな)わっている観念から，経験を通じて知識が導き出されるとした

③ ヒュームだね。彼は，存在するとは知覚されることであるとする立場から，物質世界が実在することを否定した

④ ロックだね。彼は，生得の観念というものはなく，経験を通じて得られた観念やその組合せによって知識が生まれると主張した

Ⅲ　次の会話は，Ⅱの会話の後で，F，G，先生が交わしたものである。

F　：考える大切さは分かったけど，考えって人それぞれで違うよね。私は，人と意見が違って衝突しそうになると，自分の考えは脇に置いて相手に従おうとしてしまうんだ。対立して人を傷つけたくないし，自分も傷つきたくないから。

G　：でも，ⓒヘーゲルの弁証法によれば対立にも重要な意味があるって，授業で勉強したよ。対立があればこそ物事は展開するんだって。それに，衝突を恐れるあまり，自分の考えを蔑(ないがし)ろにしてしまっていいのかな。

F　：そうだね…。私も，実を言えば，そうして人に合わせるのは，自分自身から目を背けることのような気がしてたんだ。

G　：そんな気がするっていうのが大事だと思う。その気にさえなれば，自分を偽らずに相手と向き合い，考えを進めていけるってことだから。ⓓヤスパースも，「実存的な交わり」が人間には必要だって言っていたね！

先生：考えを進める上で，他の人の存在はもちろん重要です。ただ，考えはあくまでも自分自身の中で深まるものだという点を忘れたくないですね。

G　：どういうことでしょう。自分一人ではなかなか考えも深まっていかないように思うのですが…。

先生：日常生活で，何かが心に引っ掛かって残り続けた経験はありませんか。

F　：あります。友人にかけた自分の言葉が，それで本当によかったのかずっと気になったり，読んでいた本の一節が，なぜか忘れられなかったり…。

先生：そのとき，なぜ気になったのか，忘れられないのかと自分自身に問いかけることが，考えを深める手掛かりになるでしょう。誰もが同じことに引っ掛かるわけではないのだから，自分の心に残ったものは，他の誰でもなくあなた自身の考えを深めていくための出発点になるのです。

F　：心に引っ掛かったことをやり過ごさず，ⓔ立ち止まって考えることで，自分の考えをいっそう深めていける，ということですね。分かってきたけど，まだ少し引っ掛かるなあ…。あれ，これってもしかして…？

先生：それです！

倫　理

問 5　下線部ⓒに関して，次の**ア・イ**はヘーゲルの弁証法についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 21

ア　弁証法は，精神が自由を実現する過程を貫く論理である。全て存在するものはそれ自身と矛盾するものを内に含み，それとの対立を通して高次の段階に至る。この運動は個人のみならず社会や歴史の進展にも認められる。

イ　止揚は，否定と保存の意味を併せ持つ言葉である。弁証法において止揚するとは，対立・矛盾する二つのもののうち，真理に近い方を保存し，他方を廃棄して，矛盾を解消することである。

① **ア**　正　　**イ**　正　　② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正　　④ **ア**　誤　　**イ**　誤

問 6　下線部ⓓに関して，「限界状況」をめぐるヤスパースの思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① 限界状況とは，死，苦悩，罪責，争いなど，人間の力では回避することのできない人生の困難である。生きている限り誰もが行き当たるこの壁を克服し得たとき，はじめて人は自己の生の真実に触れることができる。

② 限界状況に直面し，人は自己の有限性を自覚する。自分が何ものにも支えられない無力で孤独な存在であることを知った人は，神のような超越的な存在に頼ることのない，人間同士の実存的な交わりを求めるようになる。

③ 限界状況と向き合いつつ，真の自己を求める者同士で心を開いて語り合うのが実存的交わりである。自己の全てを賭けたこの全人格的な対話に身を投じることで，互いの実存が明らかになる。

④ 限界状況に直面したとき，人は絶望し，挫折を味わう。自己の生の真実を理性によって捉えることはできないと悟った人は，理性に拠(よ)らない「愛しながらの戦い」を通じて，自己の実存に目覚めることができる。

問 7　下線部ⓔに関して，先生はFに，「立ち止まって考える」ことについてデューイが論じている次の**資料**を示した。後の**メモ**は，それを読んでFが書いたものである。**資料**の内容と，デューイの思想を踏まえて，**メモ**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 23 ］

資料

いかなる場合であれ，自然な衝動や願望が行動の出発点となる。しかし，最初に現れてくる衝動や願望を，何らかのかたちで組み立て直し，あるいは作り変えることなしに，知的成長はない。……「立ち止まり，考えよ」という古くからの警句は，健全な心構えである。というのも，思考は衝動が即座に現れることを食い止め，……それによって，いっそう包括的で一貫した行動の見通しが形成されるからである。……人は，目，耳，手を使って客観的条件を観察したり，過去に何が起きたかを思い出したりする。このようにして，考えることは，即座の行動を先延ばしにすると同時に，観察と記憶との結合を通じて，衝動を自分の内部で統御することを可能にする。この結合が，自分を振り返るということの核心なのである。

（『経験と教育』より）

メモ

デューイはプラグマティズムに属する思想家で，［ **a** ］と主張している。この主張の根底には，**資料**に示されている，［ **b** ］という考えがある，と言えるだろう。

倫　理

① **a**　知性には，科学的真理を探究するだけでなく，生活の中で直面する問題を把握し，課題の解決に向かって行動を導く創造的な働きがある

b　思考の役割は，自然な衝動や願望を抑えつつ，自己を取り巻く客観的な条件を観察したり，過去の事例を振り返るなどして，自分がこれからなそうとする行動の当否を吟味することだ

② **a**　社会もまた知性の働きによって改善されるべきであり，知性には，理想的な民主社会の実現に向けて重要な役割を果たすことが期待される

b　思考の役割は，自然な衝動や願望を抑えつつ，行動を妨げるであろう要因を列挙して取り除いておくことで，環境の制約や過去の記憶から自由でいられるようにすることだ

③ **a**　現代社会において人々の価値観は多様であるが，各々が知性を働かせて協働することで，唯一絶対の普遍の価値に到達することができる

b　思考の役割は，自然な衝動や願望を抑えつつ，自己を取り巻く客観的な条件を観察したり，過去の事例を振り返るなどして，自分がこれからなそうとする行動の当否を吟味することだ

④ **a**　資本主義の発展により知性は衰退し，民主主義の理念も崩壊の危機に瀕（ひん）しているため，教育により創造性を育むことがいっそう重要になる

b　思考の役割は，自然な衝動や願望を抑えつつ，行動を妨げるであろう要因を列挙して取り除いておくことで，環境の制約や過去の記憶から自由でいられるようにすることだ

問 8　次の文章は，学習のまとめとしてＦが書いた**レポート**の一部である。61，63ページの会話を踏まえ，**レポート**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 24 ］

レポート

授業で魔女狩りの話を聞き，また先生や友人との対話を通じて，考えることの大切さと，思考停止の怖さを学んだ。

当初私は，人が思考停止状態に陥ってしまうのは，［ **a** ］からだろうと思っていた。しかし，Ｇと話をして，思想家の言葉を紹介されたりする中で，それだけではないらしいと思い至った。また，私は人と衝突することを恐れて，自分の考えを表に出すのを控えてしまうことがある。このとき，私は既に思考停止に片足を踏み込んでいると言えるのかもしれない。

どうすれば思考停止を避けられるだろうか。この点について，先生は［ **b** ］という考え方を示した。思考停止に陥る危険も，思考を促し考えを深める種も，ともに日常の中にはあるのだと気付いた。

① **a**　熟慮する力が養われておらず，知識が真に自分のものとなっていない
　b　思考は日常を生きる自分自身の中において深まるのだから，他者の意見よりも自己の見解の方をこそ重視すべきである

② **a**　物事を批判的に捉え返すために必要な思考の材料が不足している
　b　日々の暮らしの中で経験されるようなありふれた物事の中にも考える種はあり，それが自身の思考を深めるきっかけになり得る

③ **a**　熟慮する力が養われておらず，知識が真に自分のものとなっていない
　b　何かが心に引っ掛かったとき，他の誰も気に留めないようなものであっても，それを手掛かりにすれば考えを進めていくことができる

④ **a**　物事を批判的に捉え返すために必要な思考の材料が不足している
　b　思考を進め，考えを深めていくためには，日々の小さな出来事に引っ掛かりを覚えたとしても，それに囚（とら）われるべきではない

倫　理

第４問　高校生ＪとＫが倫理の授業の予習をしているときに交わした次の会話を読み，後の問い(**問１～９**)に答えよ。なお，会話と問いのＪとＫは各々全て同じ人物である。(配点　28)

Ｊ：うーん，次回の授業で扱うⓐ未来世代に対する責任ってよく分からないなあ。

Ｋ：後の世代のためによいことをしなければいけない，というのは当然じゃない？

Ｊ：その人たちに何がよいのかなんて，今の私たちに分かる？　私にはⓑネットがない生活なんて耐えられないけど，この気持ちは昔の人には分からなかったでしょ。未来の人はまた違うことを望むはずで，それは予想できないよね。

Ｋ：変わらないこともあるよ。誰だって衣食住や自由が必要だし，ⓒ子どもは大人に守ってもらわないと。それに安全なⓓ環境や社会がなければ不安だよ。

Ｊ：でも，私個人のⓔ行動が，未来の人の生活に影響することなんてあるのかな。

Ｋ：一人ひとりの廃棄で川や海にプラスチックが溜(た)まり，電気やガスの使い過ぎでⓕ温暖化も進んだ，と授業で習ったね。個人の行動も未来に影響はするよ。

Ｊ：なるほど。だけど，そもそも私たちに未来世代に対する責任があるのかなあ。この責任を負う相手には，遠いⓖ将来の人だって含まれるかもしれないわけでしょ。そんな赤の他人になぜ何かをしてあげなければいけないのかな？

Ｋ：そういう人を思いやるのは難しいけど，それって何もしないことの言い訳になる？　遠い未来に生まれるとしても私たちと同じ人間なんだから，ⓗ道徳的に考えると，その人たちの利害も私たちのものと同様に重要なんじゃないの。

Ｊ：うーん，まだ存在もしていない人の利害よりも，いま現に生きている人の利害の方が大事な気もする。それに，同世代の人に何かよいことをするならお返しをしてもらえる可能性があるけど，未来世代の人からは何も返してもらえないよ。一方的な自己犠牲をしなきゃいけないの？

Ｋ：それは本当に一方的な自己犠牲なのかな。違うと思うよ。私たちが有限な人生を生きることの意味や幸福って，誰かが私たちの遺産を引き継いで幸せに生きていってくれるっていう期待にかかっているんじゃないの。

Ｊ：ⓘ後を継ぐ人がいないとしても，自分らしく生きられるのなら，それで十分だと思うけど。まだ納得できないから，明日，授業を受けてからまた話そう。

問 1　下線部ⓐに関して，次のメモは，授業の前夜にKが自分の考えをまとめたものである。68 ページの会話を踏まえて，メモ中の［ a ］・［ b ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 25 ］

メモ

未来世代に対する責任の重要性を説いた思想家として，ヨナスが挙げられる。私たちが，自然を危機的なまでに傷つけ人類を滅ぼすことができる科学技術を手にしていることが，彼の議論の背景にある。［ a ］ことも，彼と同様の考えに基づくものだったようだ。さらにヨナスは，私たちの行為と技術の影響を，遠い未来に及ぶものでも，できる限り知らなければならないと主張した。これは，Jに伝えた，［ b ］という私の考えと同じ発想に基づいていたようだ。でも，科学技術とその利用の影響について知るための教育の機会が得られない人だって多い。現在の問題にも取り組まないと，未来世代に対する責任は果たせないということか。

① a　国連人間環境会議で「持続可能な開発」が提唱された
　 b　遠い将来の人であっても，私たちの行為で被害を受けることがある

② a　国連人間環境会議で「持続可能な開発」が提唱された
　 b　未来の人を援(たす)けることは，見返りのない義務なのだ

③ a　ハーディンが地球を宇宙船という閉ざされた環境に喩(たと)えた
　 b　遠い将来の人であっても，私たちの行為で被害を受けることがある

④ a　ハーディンが地球を宇宙船という閉ざされた環境に喩えた
　 b　未来の人を援けることは，見返りのない義務なのだ

⑤ a　ラッセルとアインシュタインが核兵器の廃絶を主張した
　 b　遠い将来の人であっても，私たちの行為で被害を受けることがある

⑥ a　ラッセルとアインシュタインが核兵器の廃絶を主張した
　 b　未来の人を援けることは，見返りのない義務なのだ

問 2　下線部ⓑに関連して，先生は授業で生徒に情報に関わる現代社会の問題を挙げさせた。デジタル・デバイドの具体例を挙げた生徒の発言として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① ネット上では，本人の同意なく個人情報が書き込まれ，しかもそれが容易には削除されない，という問題が起こっています。

② インターネットに接続しにくい地域に住んでいるために，教育や就職の機会において不利になっている人がいます。

③ ネット上では，考えを共有する人同士が結び付き，意見が違う人を無視したり排除したりして，極端で攻撃的な方向に走る危険があります。

④ 企業，報道機関，政府などが情報を隠したり不正確な情報を流したりして，情報の受け手が適切に行動するのが難しくなることがあります。

問 3　下線部ⓒに関連して，子どもの発達や養育についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① 子育てや教育が，家族よりむしろ保育所や学校などの組織に担われるようになることは，家族機能の外部化と呼ばれる事象の一例である。

② 青年期において，大人の集団にも子どもの集団にも属さない不安定な状態に置かれることを，レヴィンは脱中心化と呼んだ。

③ 子どもが親や大人の指図や保護に対して反発する時期の一つとして，7～8歳の頃の第二反抗期が挙げられる。

④ 青年期において達成すべき発達課題の一つとして，エリクソンは周りの世界や自分自身を信じるという基本的信頼の獲得を挙げた。

問 4　下線部ⓓに関連して，次の**ア・イ**は，環境や世界と人間との関係について考えた思想家の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

ア　人間は身体を通じて世界を知覚し行動するのであり，その身体によって世界の中に織り込まれている，と考えた。

イ　人間は生態系の征服者ではなく一構成員であり，生態系という共同体を尊重し他の構成員に配慮して行動すべきである，と考えた。

① **ア**　パース　　**イ**　メルロ＝ポンティ
② **ア**　パース　　**イ**　レオポルド
③ **ア**　メルロ＝ポンティ　　**イ**　パース
④ **ア**　メルロ＝ポンティ　　**イ**　レオポルド
⑤ **ア**　レオポルド　　**イ**　パース
⑥ **ア**　レオポルド　　**イ**　メルロ＝ポンティ

問 5　下線部ⓔに関連して，不当な支配に対する行動をめぐるガンディーの思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

① 不当な支配に対しては，真理を把持し，全ての生命を尊重し平和を愛して暴力に依(よ)らずに抵抗すべきである。
② 不当な支配に対しては，生命に対する愛に基づく不殺生の立場を貫き，一切の抵抗を断念すべきである。
③ 不当な支配に対しては，身体的な欲望のままに振る舞うことを旨とするブラフマチャリヤーを実践して抗(あらが)うべきである。
④ 不当な支配に対しては，暴力に屈せずに抵抗する立場を徹底して，武力闘争も辞さずに正義を実現すべきである。

倫　理

問 6　下線部ⓕに関して，次の**資料**は，授業で気候変動についての議論のために配布されたものであり，後の**ア**～**ウ**は，**資料**の下線部Ⓧと Ⓨのいずれかに当てはまる事例である。**資料**の趣旨を踏まえて，Ⓧに当てはまる事例を**ア**～**ウ**のうちから全て選んだとき，その組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 30

資料

ほとんど誰もが，次の基本的な道徳原理を認識している。Ⓧ他の人に危害を及ぼすのであれば，自分自身の利益になることであってもすべきではない。……そして通常は，Ⓨ危害を引き起こすときはいつでも，その被害を受けることになる人に補償をすべきだ。……車の運転，電力の使用……これら全ての活動は，気候変動の一因となる温室効果ガスを生じる。……基本的な道徳原理は，他の人に危害を及ぼす行動をやめる努力をし，私たちが危害を及ぼすであろう人々に補償をしておくべきだ，と告げる。

（J. ブルーム「気候変動の倫理」より）

ア　化石燃料で動く交通・輸送手段の利用で二酸化炭素が放出されるため，生活者たちが，それらの使用を控えるべく，生活や仕事の場を近くに集約させるとともに，できる限りその地域で生産した物を消費する。

イ　牛や羊は，ゲップやおならによって二酸化炭素の数十倍の温室効果を持つメタンを出すので，消費者や企業が，こうした動物の肉・乳や毛・革の過剰な売買と利用をやめて，温室効果ガスの排出量を減少させる。

ウ　気候変動の影響で海面が上昇するため，温室効果ガスを大量に排出した人々や企業が，高波の危険に曝（さら）される人々のための防波堤の設置や，海の近くに住めなくなる人々の生活や移住の支援のために，資金を拠出する。

① ア　② イ　③ ウ　④ アとイ
⑤ アとウ　⑥ イとウ　⑦ アとイとウ　⑧ なし

問 7　下線部ⓖに関連して，次の**図 1 ・図 2** は，様々な国で 10～20 歳代の男女約 1,000 名を対象に，自国の将来や社会についての意識調査を行った結果の一部である。**図 1** は「自国の将来は明るいと思うか」という項目，**図 2** は「社会をより良くするため，私は社会における問題の解決に関与したい」という項目に対する回答の内訳である。次ページの会話は，**図 1 ・図 2** について倫理の授業で交わされたものである。会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 31 ］

図 1　自国の将来は明るいと思うかどうかの回答内訳

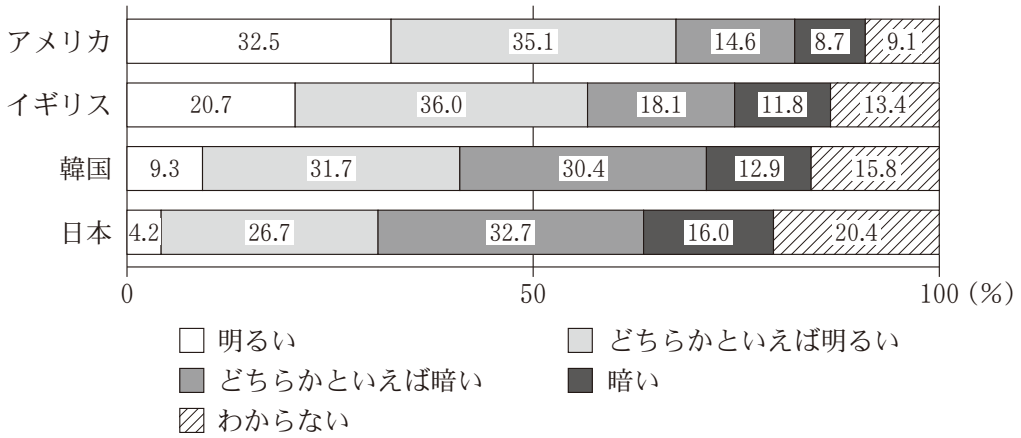
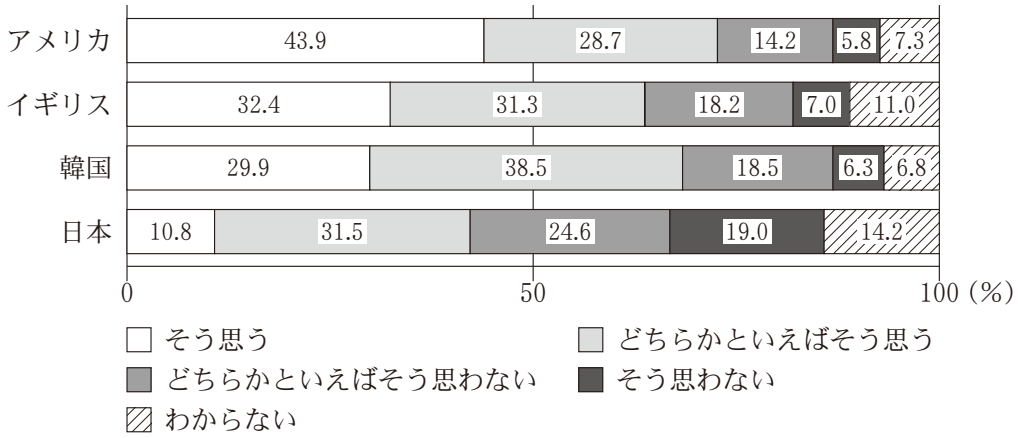


図 2　社会における問題の解決に関与したいかどうかの回答内訳



（注）　**図 1 ・図 2** の数値は四捨五入しているため，合計は 100 にならない場合がある。
（資料）　内閣府『我が国と諸外国の若者の意識に関する調査』(2019)より作成。

先生：**図 1 ・図 2** は各国の若者の将来や社会に対する考え方を示しています。どんなことが分かりましたか？

K ：アメリカとイギリスの若者の場合は，**図 1** によれば「明るい」「どちらかといえば明るい」と答える楽観的な回答が多数派で，**図 2** によれば「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える肯定的な回答が多数派ですね。そうではない悲観的な回答や否定的な回答は少数派だなあ。

J ：日本では，自国の将来が明るいと思うかについても社会問題の解決に関与したいかについても，［ **a** ］。

K ：韓国では，［ **b** ］。国ごとにいろいろ特徴があるね。国や文化など，自分の周りの社会環境に考え方が左右され，将来の社会に自分がどう向き合うかに違いが生まれることもあるのかな。

① **a**　他の国と比べて「わからない」という回答の割合が高いですね
b　自国の将来が「明るい」という回答は 10 % に満たないし，社会を良くするために自分が問題を解決しようという回答の割合も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算では，イギリスより低いですね

② **a**　他の国と比べると悲観的な回答や否定的な回答の割合が高いですね
b　自国の将来が明るいと思う人が少数派という点では日本と似ているけど，社会を良くするために自分が問題を解決しようと思うかについては肯定的な回答が日本と違って多数派ですね

③ **a**　他の国と比べて「わからない」という回答の割合が高いですね
b　自国の将来が明るいと思うかについては過半数の回答が楽観的という点でアメリカと似ているけど，社会問題の解決に関与したいかについては否定的な回答が少数派でアメリカと対照的ですね

④ **a**　他の国と比べると楽観的な回答や肯定的な回答の割合が高いですね
b　自国の将来が明るいと思うかについては悲観的な回答の方が多いという点でアメリカと対照的だけど，社会問題の解決に関与したいかについては肯定的な回答が多数派でアメリカと似た傾向ですね

問 8　下線部⑪に関して，コールバーグは，成長に伴い道徳的判断の理由付けが変化していくことを指摘し，その変化を，次の**表**に示す3つのレベルに区分した。彼によると，各々のレベルに達してはじめて獲得される道徳的視点がある。この**表**に基づくと，「なぜ盗んではいけないか」という問いに対してどのような回答がなされると想定できるか。レベルと，そのレベルに適合する回答例の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 32

表　道徳的判断の理由付けのレベル

レベル	そのレベルではじめて獲得される道徳的視点	時期の目安
レベル1：前慣習的道徳性	単純な快不快に影響される。罰を避けるためや，具体的な見返り(他者からの好意や報酬)を得ようとするために，指示や規則に従う。	青年期より前
レベル2：慣習的道徳性	他者の期待を満足させたり，社会的役割を果たしたり，秩序を守ったりすることを重視して，既存の権威や規則に従順に従う。	青年前期
レベル3：脱慣習的道徳性	慣習的な規則や法を改善することも考慮しつつ，幸福増進や個人の尊厳など，皆に受け入れ可能で自らの良心にもかなう原理に従う。	青年後期以降

① レベル2：盗みをすると，相手の幸せを脅かし，誰でも認めるはずの普遍的な道理に逆らうことになるから

② レベル2：盗みをすると，親に厳しく叱られて，自分が嫌な思いをすることになるから

③ レベル3：盗みをすると，警察に逮捕され，刑務所に入れられてしまうかもしれないから

④ レベル3：盗みをすると，所有者を人として尊重していないことになり，自らの内面的な正義の基準に反するから

倫　理

問 9　下線部ⓘに関して，次の**資料**は，ある小説に描かれた社会の概要である。後の会話は，ＪとＫが，授業で使われたこの**資料**を読んで，授業後に交わしたものである。68 ページの会話も踏まえて，後の会話中の［ a ］・［ b ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 33 ］

資料

人類に子どもが全く生まれなくなり，20 年以上が過ぎた。人類の後継者が見込めないこの社会では，悲観主義が蔓延（まんえん）した。多くの人は，自分たちが去った後には全てが失われるのだと理解すると，いかなる喜びも儚（はかな）いものに感じた。思いやりのある公正な社会への関心が薄れて民主制が崩壊し，自然界への関心も消えて科学的進歩はほぼ停止した。人々は，いなくなった快活な子どもたちの面影を空（むな）しく希求した。

（P. D. ジェイムズ『人類の子どもたち』より作成）

Ｋ：私たちのサークルが卒業後に廃部になることが決まったけど，Ｊはすごくショックを受けていたよね。サークルですらそうなんだから，人類が絶えることが分かったら，Ｊが無関心でいられるとは思わないなあ。

Ｊ：ああ，自分が**資料**で語られた社会の一員だと想像したら，Ｋが前に言っていたことが分かってきたよ。人類の文明が滅びるってことは，自分たちの伝統も人間関係も，大事にしている知識や考え方や価値観も，全て消え去るってことなんだ。

Ｋ：この結果をはっきり自覚したら，確かに生きがいや楽しみは損なわれそうだよね。だとすれば，授業前に私が言ったように，［ a ］。

Ｊ：［ b ］。**資料**の物語はフィクションだけれど，戦争や環境破壊や気候変動がいつか実際に文明を滅ぼしてしまうかもしれないわけだし，未来世代のためにはもちろん，自分たちのためにこそ，今後どうするべきか考えないといけないのかなと思うようになったよ。

① **a**　未来世代の人の利害は現代世代の人の利害よりも重要なので，私たちは嫌でも未来世代のために責任を果たすべきなんだよ

b　私もKも，赤の他人のことを思いやるのは難しいと考えていたけれど，**資料**を読むとそんな他人の状況も思い描くことができたよ

② **a**　未来世代の人の利害は現代世代の人の利害よりも重要なので，私たちは嫌でも未来世代のために責任を果たすべきなんだよ

b　私は，自分たちの後を引き継ぐ人がいなくても，自分らしく生きられるのなら幸せだと考えていたけれど，そうではないかもね

③ **a**　私たちの遺産を引き継いで幸せに生きる「子どもたち」やその子孫がいることは，私たちの人生にとってもやっぱり重要なんだよ

b　私は，未来世代に責任を果たすことは，全くの自己犠牲だと思っていたんだけれど，そうではないってことか

④ **a**　私たちの遺産を引き継いで幸せに生きる「子どもたち」やその子孫がいることは，私たちの人生にとってもやっぱり重要なんだよ

b　私もKも，未来の人々にとって何がよいのかなんて分からないと言っていたけど，将来のためにできることを真剣に探っていかないとね